

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

さしまスローライフ

平成19年12月に発足し約300人の会員を擁する、市内で一番新しく最も大きな老人クラブ。美化活動、奉仕活動をととして地域社会への貢献活動を行うほか、グラウンドゴルフ大会などを開催し、会員の健康の維持増進を図ることを目的に活動している「さしまスローライフ」のみなさんを岡村市長が訪問。活動内容などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。いよいよ今年もあと2カ月になりました。11月の市長のふれあい訪問は、さしまスローライフのみなさんです。どうぞよろしくお願ひします。

さしまスローライフとは、どのような団体なのですか。

鯨井(寛) 川口市老人クラブ連合会に登録している153番目の老人クラブです。

市長 153番目という一番新しい団体になるのですか。

鯨井(正) はい。平成19年12月に設立した一番新しい団体です。

市長 この団体を始めたきっかけはどのようなものだったのですか。

西澤 民生委員をしているときに、地域のお年寄りの方々から、敬老会や老人クラブがあればいいなという意見が多数あり設立しました。

市長 なるほど。ところでこの会の地域は戸塚全体になるのですか。



市長 運営はどのように行っていますか。

石澤 市の助成金と会費で運営しています。

市長 一番新しい団体で一番会員数が多いと伺いましたが、増田 現在の会員は301人になります。執行部役員が14人、ほかに31人の方に役員をお願いし、役割を分担して会員をサポートしています。

市長 差間を中心として戸塚全域です。地域のみなさんにいろいろな活動に参加していただいで、そこから会員になっていただいでいます。

市長 差間はすごく変わりましたね。

市長 差間はすごく変わりましたね。

市長 平均年齢は72歳です。

市長 会を立ち上げて良かったと感じることはどのようなことですか。

西澤 家の中にこもっていたお年寄りが、会ができてからさまざまな活動に参加するようになりました。地域内でも顔見知りが増え、あいさつができると喜んでいきます。

市長 家を出て交流することはすごく大事ですね。会員募集はどうされているのですか。

石澤 手作りのポスターを会員の自宅、商店や金融機関などに貼ってもらっています。

市長 年間行事をみますと、ものすごい数の活動をしていますよね。

高橋 カラオケや書道などいろいろな活動を行い、マップや会報の発行もしています。

市長 マップとはどのようなものですか。

高橋 戸塚地区にある階段などの危険箇所を、みんなで地図に落として会員に配布しました。

市長 会報のさしまスローライフだよりは2カ月半ごとに全部手書きで発行していると聞きましたが、素晴らしいですね。

鯨井 事務局みんなで相談してレイアウトを考えて、書いています。元気にしているか確認する意味もあり、必ず会員に手配りしています。

市長 地域のお年寄り活動の新しいモデルのように思います。多くの方に入会してもらえればありがたいですね。最後に会長から一言お願いします。

鯨井(寛) 差間スローライフは自分たちで全てを行う会です。隣の人に自分から先にあいさつをし、みんなが家から一歩踏み出せるような会になるようにしたいと思っています。

市長 継続は力なりです。これからも頑張ってください。どうもありがとうございました。

